

国分川調節池を育む会

第26号

編集・発行 国分川調節池を育む会事務局（市川市水と緑の部公園緑地課） 〒272-0033 市川市市川南2丁目9番12号

7月3日（日）に、曾谷公民館にて第26回国分川調節池を育む会を開催しました。

今回の育む会では、千葉県より下池南側のフェンス整備スケジュールやガマ等の穂綿飛散対策について、市川市より、今年度の工事予定や今後の国分川調節池の管理・運営について説明いたしました。また、最後の整備箇所となる自然ふれあいゾーン的设计内容（公園施設の配置案等）について、検討部会での作業を通してご検討いただきました。毎回、『育む会』で行われた内容等については当会報でお知らせします。

1. ガマ等の穂綿飛散対策について

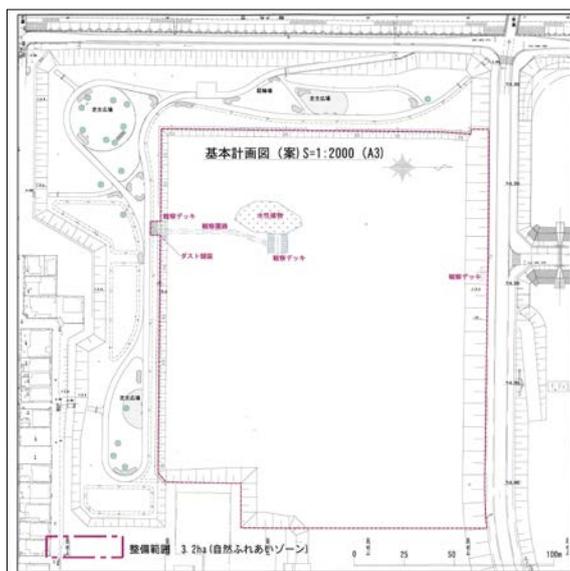
昨年末から年始にかけて調節池から大量飛散して問題となったガマ等の穂綿飛散に関連して、千葉県より今年度の対策方法等について説明がありました。

昨年度のような飛散がないよう、池の周囲の道路沿いは根元から刈り、ガマの多い水面部については、穂綿部分を刈る予定です。また、穂綿飛散対策の一環として、水深を変えた場所でのガマの生育状況の観察や、夏前の試験的な刈取り等を実施しています。

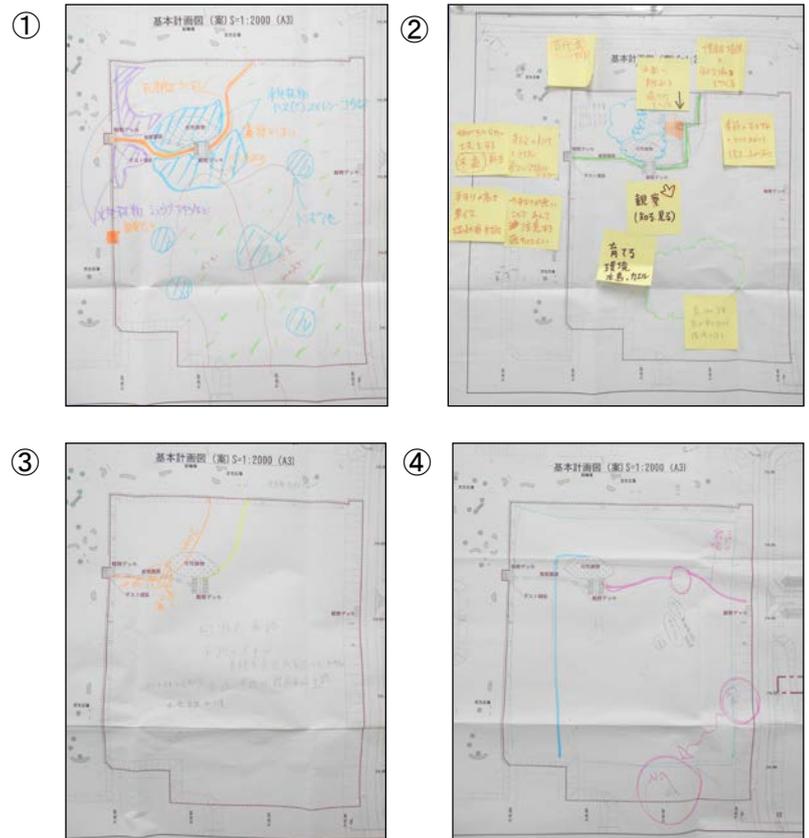
2. 自然ふれあいゾーンについて

下池の自然ふれあいゾーンは平成30年春の開園を目指し、今年度より実施設計に入ります。この場所には、これまでのワークショップで観察園路や観察デッキ及び水性植物等を配置していくことを基本的な考え方としています。検討部会ではそれらの配置案について検討し、部会ごとに下図のたたき台に記入する作業を行いました。

また、転落防止柵の有無や形態、観察園路や観察デッキの素材についても、他市における施工例を事務局で最初に示し、利用状況を想定しつつ討議いたしました。



【たたき台図面】



〈各検討部会の案〉（右図①～④）

- ① 自然復元ゾーン検討部会
- ② 自然ふれあいゾーン検討部会
- ③ 多目的利用ゾーン検討部会
- ④ 散策・休息ゾーン検討部会

3. 検討部会

自然ふれあいゾーンの設計について検討部会に分かれて検討する前に、千葉大学大学院の近江助教より、検討する上での留意点として下記の点について説明がありました。

- ① 仮に下池を南北に結んだ場合の約140mという距離は相当長く、柵がない状態でこれだけの距離を歩くのは、怖いと感ずることもあるのではないか。
- ② 水鳥を観察するのであれば、観察園路は30mもあれば十分ではないか。
- ③ 図面では短く感じるが、実際は相当な距離があることを念頭に入れて検討してほしい。

検討部会での主なご意見は以下のとおりとなります。

部会	観察園路・観察デッキ・水性植物	転落防止柵	その他
自然復元	<ul style="list-style-type: none"> ・園路は西方向にも延ばし、曲線的な形状が良い。(中学生の通学の安全を考えると、南北のデッキを結ぶ必要はない。) ・園路やデッキには再生木材が良い。 ・園路を中心に水性植物を配置する。 	<p>必要なし。 (春木川の改修工事が終了すれば湿地的な環境になると想定されるため。)</p>	<p>将来湿地的な環境になったら、池内の一部を掘り、水がたまっているトンボ池を造ってはどうか。</p>
自然ふれあい	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を保存する場所と子供たちが自然にふれ合える場所の2つに分け、その間を園路が通るような配置とした。 ・園路は再生木材が良い。 ・園路の外側には水性植物を植栽し、鳥類が営巣できるような空間に。 	<p>必要なし。 (車イスが落下しないよう、園路の両端に段差を設けるべき。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが水面に触れられる場所を設けてほしい。 ・季節の移ろいを感じられる場所にしてほしい。
多目的利用	<ul style="list-style-type: none"> ・園路は直線的ではなく回遊式とし、途中で車イスがすれ違えるスペースを設けてほしい。 ・水性植物はガマに負けない何か良いものを考えてもらいたい。 	<p>二段式の手すりのものが良い。</p>	<p>—</p>
散策・休息	<ul style="list-style-type: none"> ・園路は行き止まりにしてみてもどうか。 ・観察デッキと鳥が飛来する場所をどれくらい離せば良いのか、自然環境課等に確認した上で配置を考えてほしい。 ・水性植物は何かを新たに植えるのではなく、今あるガマ等を刈った上で、自然に生えてくる植生とすれば良いのでは。 	<p>低いもので構わないが、所々もたれかかって休憩ができるような場所が欲しい。</p>	<p>検討する上で、現在のように入水がある状態を前提とした。</p>

4. 今後の予定

皆様からたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。今回いただきましたご意見を踏まえ、今後の設計を行っていきたいと考えております。設計の結果は次回の育む会（平成28年11月頃開催予定）にてご報告する予定です。

「国分川調節池を育む会」は、千葉県が整備した国分川調節池において、市民の皆様と行政が協働で上部活用について検討・実行することを目的として設置されました。

※ご連絡先

国分川調節池を育む会事務局（市川市水と緑の部 公園緑地課）
〒272-0033 市川市市川南2丁目9番12号（市川南仮設庁舎）
市川市ホームページもご覧ください！

「国分川調節池を育む会」で検索して下さい。

国分川調節池を育む会

検索